1951年12月7日第3種郵便物認可

社会新報（岡山版）

2025年10月1日
（社民党"再起動"）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
TEL03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

〒700-0976岡山市北区辰巳22－103 Tel. 086－242－5510 発行責任者 武本恒夫
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail：shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp

福島党首・自民党総裁選・安保関連法（戦争法）強行から10年・パレスチナ情勢などについて語る

社民党の福島党首は9月17日、会見を行い、自民党総裁選について「国民不在」と批判。

「この30年間、格差が拡大し貧困が増え、みんなの生活を壊したのは新自由主義だと思うので警戒（新自由主義的色合いの濃い小泉農水相）」、「放送免許を停止の発言は危険」、また「参政党との関係を深めることを警戒」と高市元総務相を危惧する発言。

集団的自衛権行使を認める安保法制（戦争法）強行から10年、「誰が考えても憲法違反。廃止に向け、多くの政党と共同歩調をとって進めていく」。

「パレスチナ・ガザ地区への大規模攻撃へ強く抗議する」と批判。空爆で命が奪われているが、地上戦になれば、また違うレベルで無差別殺人となる」と危惧日本が国家承認を見送る方針に「ジェノサイドを止めるつもりがない」と批判。社民党は「パレスチナ国家の承認」「地上戦反対を強く言っていく」と述べた。

【社会新報9／19】

お知らせ＆お願い

北海道から直送
"ながきり昆布"
品質は長年信頼の保証品
価格 1000円
量目 180g入

今年の夏は、「記録に残る大雨・記憶に残る暑さ」。農水産物にも大きな影響を与えています。例年、北海道からの贈り物『根室のながきり昆布』も例外ではありません。地元との長年の信頼関係で今年も取り扱います。但し、スルス値上げ（190g→180gへ入れ目減）了承下さい。価格1000円！

政治は私たちの手で変えられる！！

「政治空白」より、政治を前にすすめよう

9月党常任幹事会

短命政権が続く。政権の顔となる柱も「自助・共助・公助」から、「新しい資本主義」の次は「楽しい日本だ。これまで自民党内野党を任じていたと思われていた石破政権では、持論を封印して金権政治から脱しきれなかった。結果、表紙の顔を付け替えただけに終わった。今回、どんな表紙ができるやら。

しかし、この間の政治空白は国民にとっては喜劇を見せられただけでなく、悲劇が危惧されなりかねない。

菅・岸田・石破政権と、目まぐるしく自民党タカ派的言質あり、排外主義の先には改憲さえ見え隠れする。

いま政治に求められるのは貧困のブラックホールの認識だ。多くの人もその淵に立っている。物価高に苦しむ人たちへの支援対策だ。米国追従軍拡で戦争する国づくりでない。

ラサール石井・参議院議員副党首に選出される

7月参院選比例区選出で当選したラサール石井参院議員が9月24日の全国幹事長会議で副党首に選出。副党首大椿ゆうこ・新垣クニオの3人体制となった。

外国人差別などで批判も多い参政党の急伸に少なからぬ影響を与えたとされる若い仲間から参院選の感想が寄せられた。総括も進んだ中、少し遅れたが掲載する。

30代Sさん： 私が今回の参院選で一番印象的だったのは、「日本人ファースト」を訴える新興政党が躍進したことだ。参政党は大幅に議席を伸ばし、日本保守党は初めての議席を獲得した。そのような新興政党を支持する人の中には、新しい勢力だから政治を変えてくれると期待している人もいる一方で、日本人ファーストの考え方のように外国人を疎外したいという意識を持っている人も多いのではないだろうか。

近年、ヨーロッパなどでは、移民排斥を掲げる極右政党が勢力を伸ばしていた経緯から、日本でも同じようなことが起きるのではないかと懸念していた。現在の日本では、少子高齢化や団塊世代の引退の影響もあり、労働者として外国人を頼りにしている産業も増え、外国人労働者は日本社会を支えてくれている。また、日本で学びたいという意欲をもって来日する外国人留学生も多くいる。外国人労働者や留学生は、習慣や文化も違い、言葉も通じにくい異国の地に、勇気を出してやって来て生活している。日本人か日本人でないかという違いだけで相手を一括りにし、差別のように扱うのは、外国の人に失礼であって、分断を生みかねない。むしろ今求められるのは、日本で暮らす外国の人が日本の生活に慣れるようサポートを受けることができ、国籍に関わらず安心して共生できる社会ではないだろうか。9/1 mail受信

石

破首相が自民党総裁選の是非を問う前に、辞任を表明した。もちろん、辞めるのは自民党の総裁であって、首相ではない。議会の多数党が内閣総理大臣を指名し、内閣を組織、議会の信任をもって存立させる。このとき、少数党であっても、連立して多数派を院内で構成してまとまって首相を選出することができる▼が、今、あたかも総裁選が首相選びの投票のようだ。またもや特定政党のためにメディアが動員され、政治空白が作られている。「石破やめるな」の異例の国会前デモの報道も▼政治の転換点で何が起きているのか。SNSでは、政治的に苦しい立場にある首相の後押しより、むしろ次期候補者の顔は「排外主義的な政権の誕生」への危機感がデモの背景にあるとの思いも▼このような指摘に応える責務が野党にある。「真偽の不確かな言説を振り撒き、自分の価値観や関心のある情報しか見えなくなる」層への働きかけも遅れている。総裁選の「顔」次第では9条改憲への連立が一気に進む危惧も（の

定例学習・読者会

「新報」読者会
10月14日（第2火）17時
辰巳時事問題懇話会
10月31日（最終金）17時
※いずれも辰巳事務所で

ご案内

10／5（日）13：30～ 入場無料
平和・人権コンサート
西川アイプラザ 5階
出演：清水ゆき ミュージカル俳優/八木たかし/ オルガ：ウクライナ楽器/京山中学校吹奏楽部 みなんキッズの皆さん

10/11～12 岩国市
社民党中国ブロック総会

10／25（土）17:00 駅マツキヨ前
市民と立憲野党合同宣伝

10/8（水）17:30～ 駅さんすて前
10/22（水）17:30～ 駅マツキヨ前
社民党定例街宣

社民党サポーター募集中
年会費1000円オンライン申し込み
https://sdp.or.jp/sdp-supporter/